

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。 (当社ホームページURL <a href="http://www.manac-inc.co.jp/">http://www.manac-inc.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載する方法で行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部



〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地  
TEL.084-954-3330 FAX.084-957-4370  
<http://www.manac-inc.co.jp/>

マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により  
先端技術産業が求める機能を開発・提供する  
研究開発型モノづくり会社です。



## 第70期のご報告

# 株主通信

2014年4月1日▶2015年3月31日



## ごあいさつ

第70期の株主通信をお届けするにあたり、株主様をはじめとする関係者の皆様の、日ごろのご支援とご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

マナックのルーツは、江戸時代から瀬戸内の海で行われていた製塩業にさかのぼります。1948年(昭和23年)の設立以来、地元の美しい海から生まれた技術を進化させ、世界に通用する臭素化、ヨウ素化の化学合成技術を確立しました。

こうした技術開発力を強みとして、提案型研究開発事業を推進するマナックでは、次世代のエレクトロニクス素材、医薬品原料、情報記録材料など、先端技術産業からの高度なニーズ、潜在的なニーズに応えるため、さまざまな製品を展開しています。

マナックは「社会的存在価値のある製品を提供し続ける」という確固たる信念のもと、お客様の視点に寄り添ったマーケット重視の事業をスピード感を持って展開してまいります。新しい機動的な組織体制のもとで、これからもファインケミカルのニッチな分野をターゲットに、マナックにしか実現できない製品を追究し続けてまいります。

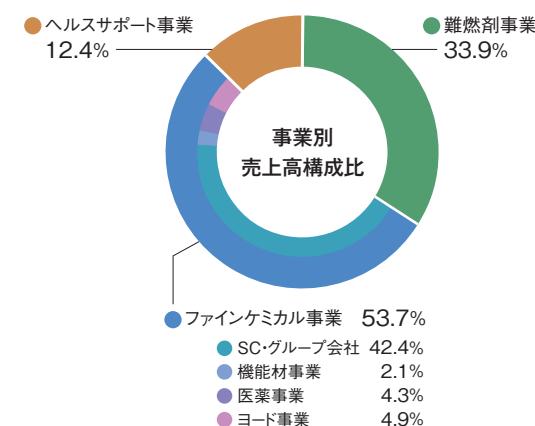


代表取締役社長 杉之原 祥二

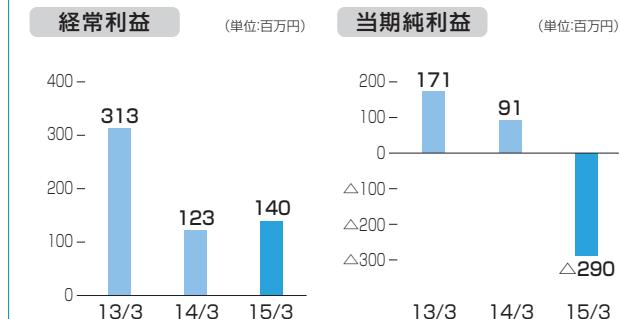
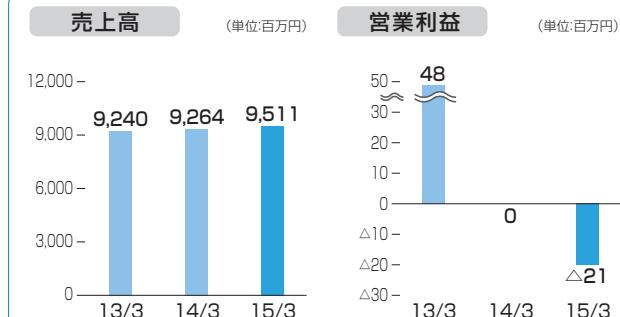
## 事業の概況

第70期の当社グループの売上高は、9,511百万円(前期比+247百万円)となりました。利益面では、第1四半期に、連結子会社において受託製造しておりました大型医薬品の開発品が、最終段階で開発中止となったことが、大きな影響を及ぼすこととなりました。この結果、営業損失は21百万円(前期は営業利益0百万円)、経常利益は140百万円(前期比+17百万円)となりました。また、連結子会社において固定資産を減損し、減損損失297百万円を特別損失として計上したことなどにより、当期純損失は290百万円(前期は当期純利益91百万円)となりました。

セグメント別では、ファインケミカル事業の売上高は5,106百万円(前期比+203百万円)、難燃剤事業の売上高は3,227百万円(同+13百万円)、ヘルスサポート事業の売上高は1,177百万円(同+29百万円)となりました。



### 連結財務ハイライト



### 企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』  
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

### 経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

## ニッチマーケットを積極的に開拓 技術力に加えマーケット重視の姿勢で、 市場の変動にも耐えうる体力を獲得します。

2015年3月期の締めくくりにあたり、この1年間の業績を振り返るとともに、事業部制からグループ制への組織変更など、今後の方針についてお伝えします。



### Q 2015年3月期の概況についてお聞かせください。

**A** 外的な環境としては円安の影響が最も大きなものです。一昨年は1ドル100円前後で推移していた為替も昨年は110円～120円の円安となり、受託産業であるわれわれにとってもその影響は顕著なものとなりました。一方で円安による影響が底を打った感も少しずつ出てきており、お客様も円安に対応した事業体制を整える中、4月以降の当社の事業にも明るい兆しが見えてくるものと期待しております。

グループ内では、連結子会社で受託しておりました大型医薬品の開発品が、年初にお客様の都合で開発中止となったことが大きな影響を及ぼし、連結決算の利益面を圧迫することとなりましたことをお詫びいたします。

円高の時代に比べ海外品との価格競争力は出てきましたが、海外品の品質も上がってきているため、気を抜くことはできません。「メイドインジャパン」だから優位だという考えは捨て、日本の強い分野、大手の参入していないニッチな分野で、マナックの力を発揮していきたいと考えております。

### Q ファインケミカル事業の状況はいかがでしたか。

**A** ファインケミカル事業については、ヨードの世界的な過剰感による市況崩れの影響を受けました。ヨードの市況は医薬分野では堅調に推移した反面、IT分野では中国の市場の低迷など世界的に市場の伸びが鈍り、かつての供給優位から需給バランスが崩れています。こうした中、海外の低価格品に引張られる形で、マナックでも複数製品が影響を受

けました。4月以降も市況の動きに注視し適切な施策を行ってまいります。

医薬分野では、製薬メーカーに新薬開発からジェネリック品の充実へ、という流れが目立ってきています。こうした動きの中で、当社はニッチのジェネリック分野で何ができるか、というスタンスでの取組みを模索しています。技術面だけでなく原料メーカーとの人的なつながりなど営業面での当社のメリットも駆使して、製薬メーカーの要望に応えていきたいと考えています。

### Q 難燃剤事業の状況はいかがでしたか。

**A** 難燃剤事業は、数字的には横ばいとなりました。その中で国内のビジネスが中心となるわれわれとしては、ふたつのポイントに注目しています。ひとつは臭素の原料値上がりに伴い、値上げ基調が始まったということ。もうひとつは円安の影響で、お客様の国内回帰が見られ国内需要の下げ止まりがうかがえることで、今後へ向けての良い材料と感じています。また業界で規制をクリアする臭素系の難燃剤をはっきり区分したこと、規制をクリアするための代替品に対する市場の反応が良いことなども好材料と言えます。マーケット自体が拡大するわけではありませんが、新しいタイプへの変更をひとつのビジネスチャンスととらえ、取り組んでまいります。

### Q ヘルスサポート事業の状況はいかがでしたか。

**A** ヘルスサポート事業では、透析薬剤の製造販売はほぼ横ばいとなりました。近年透析薬剤は大病院を中心に、液ではなく剤(粉末)で納入し病院で液を作って使用する方式に代わりつつあります。マナックでも、お客様の製薬メーカーとともにこういった流れに対応してまいります。

また環境、健康関連製品の開発にも注力してまいりました。中でも「Etak(イータック)」は知名度も拡大し、さまざまな業種の企業や海外からの問い合わせも増え、開発の分野や範囲が広がってきています。具体化された製品も数多くリリースされています。本年2月には、同じ福山市内の株式会社サンエスの製造する空気清浄機に、当社の開発した「Etak」を応用したフィルターを搭載する「ウイルス抗菌効果の高い空気清浄機を活用し

た空気浄化サービスの事業化」が、経済産業省の「異分野連携新事業分野開拓計画」に選定され、補助金の対象となりました。今後もマナックの技術を応用した、環境、健康関連の新製品開発に力を入れてまいります。

### Q 本年3月に発表された組織変更の狙いは何ですか。

**A** これまでの事業部体制では、同じ事業部の中にマーケットの異なる製品が区分されていました。このため私自身も事業のスピード感に欠けると感じる状況にしばしば遭遇していました。これは生産体制という視点から組織を構築したデメリットだと思います。工場を主体に事業部を区分するメリットもありますが、今回、マーケットにできるだけ近い視点にシフトし、事業のスピード感を優先するグループ制に移行することとしました。

これにより「グローバル・マナック」のスローガンの下、育ちつつあるマーケットのプロとしての社員が、スピード感をもって行動できる組織を構築していきます。マーケットへの入り方が類似している製品をひとつのグループにまとめることで、グループごとに最適な方向性を探っていきます。

こうした技術だけでなくマーケットを重視する体制をすることで、お客様や同業者との人脈を広げていきたいと考えています。そして人を重視した泥臭い個人プレーに磨きをかけていき、ファインケミカルのニッチマーケットに食い込んでいき、国際的な業界再編にも耐えうる体力が備わると考えております。

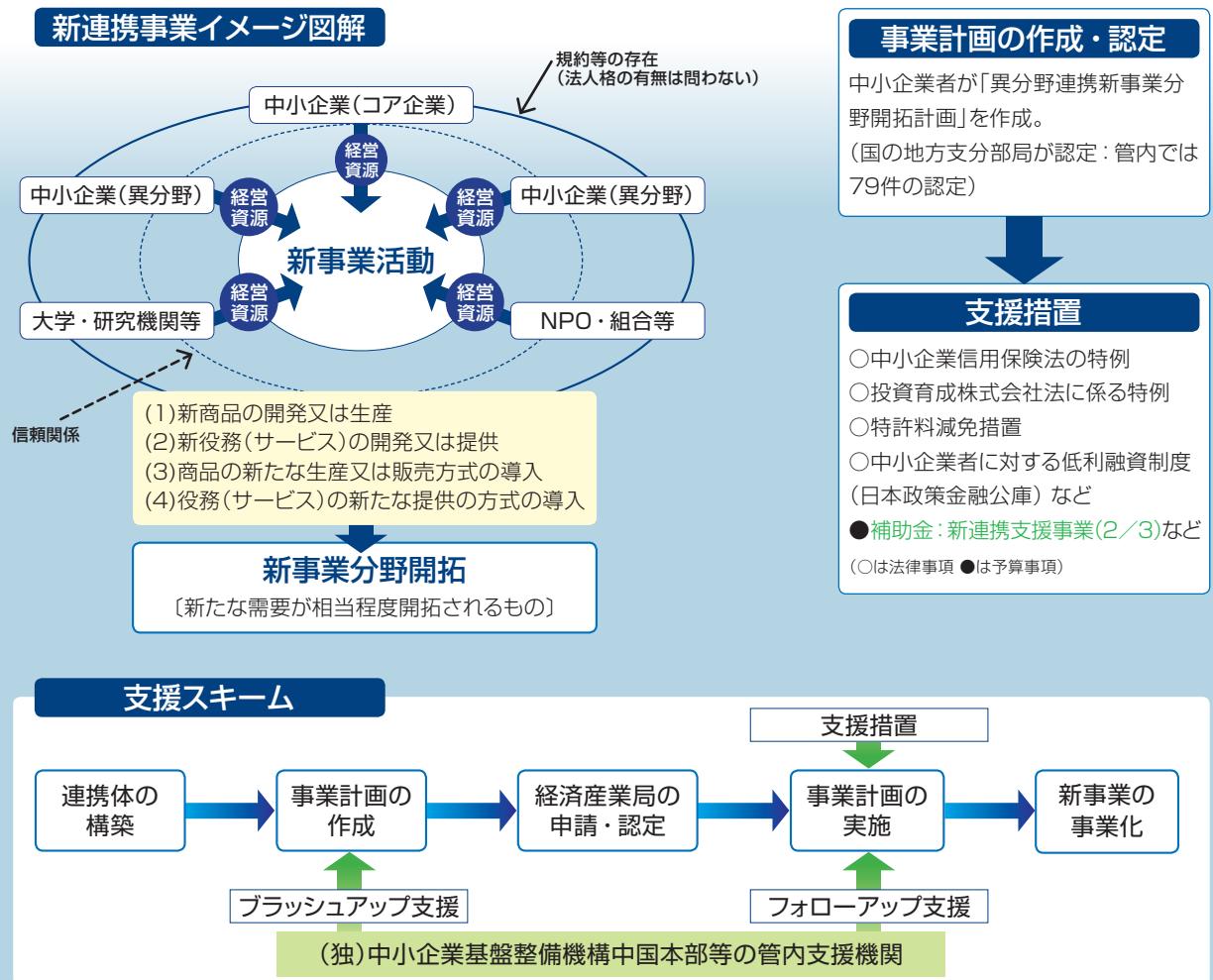
### Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 当社の株主数は本年3月末で1,600名と、前年度末よりも約400名も増加しております。マナックではこうした期待にお応えするためにも、東証ガバナンスコードや法令にのっとった誠実な経営を行うことで、外部からの目に耐えられる会社づくりに注力してまいります。技術の向上や売上の拡大だけにとどまらぬ、投資家の皆様から見た企業価値の向上に最善を尽くしてまいります。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 異分野連携新事業分野開拓計画(新連携事業)の概要

複数の中小企業者が異なる事業分野で蓄積したノウハウ・技術等の経営資源を持ち寄り、これらを有効に組み合わせ、新商品の開発や生産、新サービスの開発や提供等の新たな事業活動を行うための取組みを支援するものです。(平成17年4月施行)



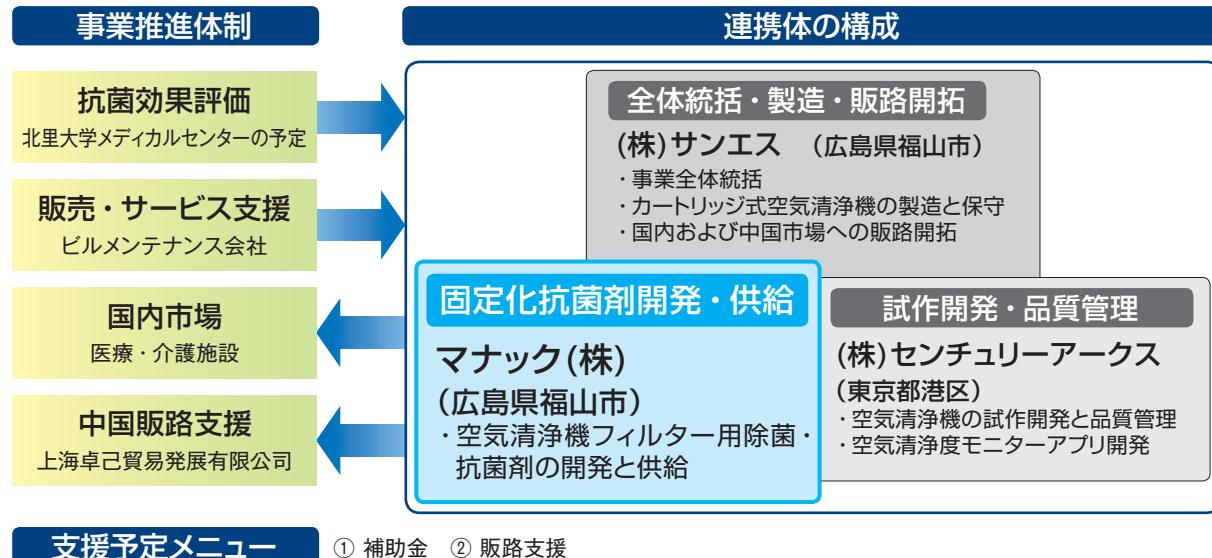
## ● マナックの固定化抗菌剤が「新連携事業」の認定をうけました ● ウイルス抗菌効果の高い空気清浄機を活用した空気浄化サービスの事業化

### ○事業概要(新規性、市場性等)

- ・(株)サンエスが開発した空気清浄機は、光触媒や活性炭等の用途別フィルターを組み合わせることで装着できるカートリッジ機構を備える等の特長を有する。
- ・この用途別フィルターのひとつである除菌・抗菌フィルターは、マナック(株)が広島大学大学院二川教授と共同開発した特許成分配合の固定化抗菌剤「ESi-QAC-D1 (Etak-D1)」を塗布したもので、乾燥や洗浄後も効果が長時間持続する特性を持つため、特にインフルエンザやノロウイルス等の二次感染リスクに敏感な医療施設、介護施設、公共施設での利用に適しているが、常に高い除菌・抗菌や空気清浄を維持するためには、こまめなフィルター交換と設置条件に応じた適切な用途別フィルターの組み合わせが必要である。
- ・そこで本事業は、主に医療機関を顧客に持つビルメンテナンス会社と提携し、①カートリッジ式空気清浄機の設置、②空気状態の遠隔監視、③用途別フィルターの提案とフィルター交換対応を実施する空気浄化サービスの事業化を推進するものである。
- ・国内のみならず中国の医療機関に対するサービスも展開予定である。



カートリッジ式フィルター部 空気清浄機本体



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在		当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,502</b>	<b>7,759</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,672</b>	<b>2,817</b>
現金及び預金	2,322	1,657	買掛金	1,077	1,231
受取手形及び売掛金	2,800	2,721	短期借入金	927	923
有価証券	276	128	未払法人税等	61	33
金銭の信託	—	1,200	賞与引当金	118	93
商品及び製品	989	1,007	その他	487	535
仕掛品	486	394	<b>固定負債</b>	<b>830</b>	<b>799</b>
原材料及び貯蔵品	415	410	長期借入金	506	538
繰延税金資産	73	102	役員退職慰労引当金	54	54
その他	139	139	繰延税金負債	164	58
貸倒引当金	△ 2	△ 2	その他	104	147
<b>固定資産</b>	<b>5,005</b>	<b>4,888</b>	<b>負債合計</b>	<b>3,503</b>	<b>3,616</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,395</b>	<b>2,995</b>	<b>純資産の部</b>		
建物及び構築物	910	1,043	<b>株主資本</b>	<b>8,397</b>	<b>8,748</b>
機械装置及び運搬具	578	631	資本金	1,757	1,757
土地	743	1,138	資本剰余金	1,947	1,947
建設仮勘定	31	27	利益剰余金	4,936	5,286
その他	130	153	自己株式	△ 244	△ 243
<b>無形固定資産</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>607</b>	<b>282</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>2,608</b>	<b>1,890</b>	その他有価証券評価差額金	402	184
投資有価証券	2,303	1,565	為替換算調整勘定	205	98
長期貸付金	108	108	<b>純資産合計</b>	<b>9,005</b>	<b>9,030</b>
その他	196	217	<b>負債純資産合計</b>	<b>12,508</b>	<b>12,647</b>
貸倒引当金	△ 0	△ 0			
<b>資産合計</b>	<b>12,508</b>	<b>12,647</b>			

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで
売上高	9,511	9,264
売上原価	7,997	7,716
販売費及び一般管理費	1,535	1,547
営業利益又は営業損失(△)	△ 21	0
営業外収益	188	169
営業外費用	26	46
経常利益	140	123
特別利益	29	97
特別損失	334	79
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 164	141
法人税、住民税及び事業税	79	37
法人税等調整額	46	11
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 290	91

配当関連情報

● 当社の株主還元方針

利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本純利益率の向上を図るとともに、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めながら、利益配当額を決定していく予定です。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

● 第70期の配当金

第70期の期末配当金につきましては、1株当たり5円とすることに決定いたしました。これにより、第70期の年間配当金は、中間配当金2円50銭を加え、7円50銭となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 期 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1 日から 2014年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	149	457
投資活動によるキャッシュ・フロー	200	△ 549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 88	292
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	295	217
現金及び現金同等物の期首残高	1,419	1,202
現金及び現金同等物の期末残高	1,715	1,419

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるCFは149百万円の獲得となりました。これは主に、減損損失の調整及び仕入債務が減少したことなどによるものです。

投資活動によるCFは200百万円の獲得となりました。これは主に、金銭の信託の解約、有価証券及び有形固定資産の売却などによるものです。

財務活動によるCFは88百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済などによるものです。



株式の状況 (2015年3月31日現在)

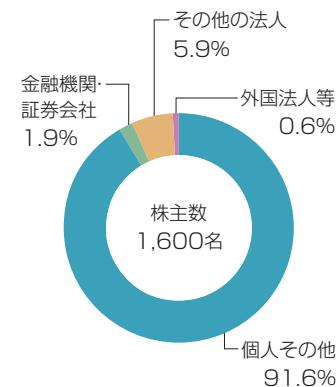
発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	1,600名

大株主(上位10名)

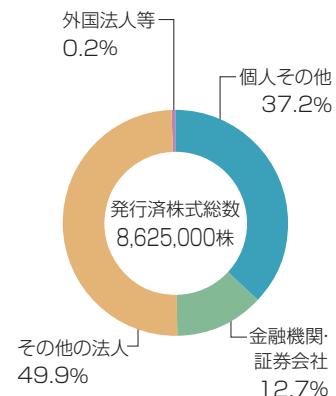
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	1,608	20.0
一般財団法人松永財団	916	11.4
三菱製紙販売株式会社	607	7.6
株式会社広島銀行	322	4.0
マナック社員持株会	315	3.9
杉之原 祥二	254	3.2
株式会社合同資源	200	2.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	139	1.7
光和物産株式会社	121	1.5
中尾薬品株式会社	101	1.3

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が591千株あります。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主数別分布状況



株式数別分布状況



会社概要 (2015年3月31日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
設立	1948年(昭和23年)5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	177名(グループ従業員数 304名)
事業内容	難燃剤、医薬品、食品添加物、写真感光材料、高機能性材料、電子材料、染料、香料など様々な分野の先端技術産業に原材料を供給

役員 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長	杉之原 祥二
代表取締役専務	朱山 秀雄
常務取締役	村田 耕也
取締役	北村 彰秀
取締役	石井 潔
取締役	内山 佳之
取締役(監査等委員)	千種 琢也
取締役(監査等委員)	内海 康仁
取締役(監査等委員)	本田 祐二

(注) 取締役 内山佳之氏、千種琢也氏、内海康仁氏及び本田祐二氏は、社外取締役であります。

主な事業所

本社	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地 TEL: 084-954-3330 FAX: 084-957-4370
東京支社	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階 TEL: 03-3242-2561 FAX: 03-3242-2564
大阪営業所	〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目5番22号 オリックス淀屋橋ビル3階 TEL: 06-6227-5988 FAX: 06-6227-5978
福山工場	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地 TEL: 084-954-3330 FAX: 084-953-8523
郷分事業所	〒720-0093 広島県福山市郷分町950番地の1 TEL: 084-951-2501 FAX: 084-951-2502

子会社

社名	八幸通商株式会社 [100%出資子会社で南京八幸薬業科技有限公司(中国・南京市)も連結子会社としております。]
本社	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号 晴花ビル3階
事業内容	化学薬品の製造、販売
社名	エムシーサービス株式会社
本社	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
事業内容	倉庫賃貸、事務業務の受託

関連会社

社名	ヨード・ファインケム株式会社
本社	〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目12番6号 東信商事ビル7階
事業内容	ヨード化合物の製造、販売